

－平成 24 年度－

新温泉町予算説明書



まちを知^る
考^{える} 参^{画する}

私たちの新温泉町

はじめに

花の便りに心の浮き立つ今日この頃、住民の皆様には、日頃から町行政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による被害からの復旧・復興へのステップにおいて、苦境に耐えながら助け合う人々の姿に改めて「いのちの重さ」と「きづなの大切さ」を考えさせられました。

さて、平成19年3月に策定した計画期間10年間の「新温泉町総合計画」は、まちの将来目標や基本方向を示すものです。山陰海岸ジオパークが世界ジオパークネットワークに加盟認定されたことなど前期5年を礎に、平成24年度から始まる後期5年は、本年策定した「後期基本計画」に沿い、地域資源を活用しながら、国内外への情報発信などの地域振興策に取り組み、本町の将来像である「海・山・温泉 人が輝く 夢と温もりの郷 一安らぎと憩いの空間 新温泉町一」の実現に向けたまちづくりをより一層推進する必要があると認識を新たにしています。

平成24年度予算編成にあたっては、住民満足度が得られるような施策展開の実現に向け、「選択と集中」により予算の重点配分を行いました。限りある人員と予算の中で、多様化する住民ニーズに応え、より質の高い行政サービスを展開していくため、「共生・協働」を基本姿勢に①地域個性づくり、②安心安全で質の高い生活づくり、③まちの元気づくりの3つを基軸とした「元気なまち 新温泉」づくりを推進します。

また、昨年度から重点的に取り組む「元気づくりプロジェクト」(①産業振興・雇用の創出、②若者定住、③山陰海岸ジオパークを活用した交流人口の拡大)も継続して推進します。

今年の干支は「辰」です。「辰」に「かいへん」を付けると「賑」になります。平成24年度が人が集まり「賑わう年」になり、「賑わいのある元気なまち 新温泉」になることを願っています。

最後に本年度も町政へのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年 4月

新温泉町長 岡本英樹

— — — — — 目 次 — — — — —

1 人と人との豊かな関係づくり《自立と協働》

• • • 3

- ①住民が積極的に社会活動に参加するまちづくり
- ②健全な行財政を運営するまちづくり
- ③連携・交流を促進するまちづくり

2 安心な暮らしづくり《安心》・・・5

• • • 5

- ①災害に強いまちづくり
- ②安心に暮らせるまちづくり
- ③健康に生きるまちづくり
- ④安心して子育てができ、高齢者や障がい者等が暮らせるまちづくり

3 ころろ豊かな人づくり 《誇り・生きがい》

• • • 9

- ①人権が尊重されるまちづくり
②次世代の担い手を育成するまちづくり
③生きがい・楽しみ・誇りづくり

4 豊かな地域産業づくり《活力》・・・13

• • • 13

- ①産業間の連携と人材を育成するまちづくり
②自然活用型産業を振興するまちづくり

- ### ③交流型産業を振興するまちづくり

- #### ④商工業を活性化するまちづくり

5 住みたくなる環境づくり《快適・生活環境》

• • • 16

- ①自然を守り育てるまちづくり
- ②快適な生活ができるまちづくり
- ③地球環境に優しいまちづくり

※資料

- 行政改革への取組・・・・・・・・・・20
 まちの台所事情・・・・・・・・・・21

● ＜平成 24 年度予算説明書の見方＞

- ◆この予算説明書は、新温泉町総合計画に沿って概要説明しています。

- ◆新規事業については「※新規事業」と表示しています。

- ◆予算額の（ ）内の金額は平成23年度の
当初予算額です。

1 予算規模

(1) 一般会計

平成24年度は、「後期基本計画」の初年度であり、新たな5年へのスタートの年です。

一般会計は、平成24年度を「～元気なまち～賑わい創出」予算とし、人と人との絆、町民の一体感の醸成と協働のまちづくりを推進します。

また、①産業振興・雇用の創出、②若者定住、③山陰海岸ジオパークを活用した交流人口拡大に向けた「元気づくりプロジェクト」を継続します。

特に、地域資源活用促進事業を実施し、加工・流通を複合化させた「6次産業化」を目指します。

健全な財政基盤の確立を考慮し、一般行政経費の徹底した経費削減を行いながらも、まちの将来像実現に向けて課題施策の推進のため、所要の経費を予算化しました。

(2) 特別会計

独立採算制の原則を念頭に、収支改善を目指し、事業運営の一層の効率化に努めました。

(3) 公営企業会計

施設の維持管理方法の見直しと、競争原理の導入による経費の削減を図り管理運営の効率性を高めます。

平成24年度予算

会 計 名		当初予算
一 般 会 計		100億9,000万円
特 別 会 計	国民健康保険事業(事業勘定)	19億4,067万4千円
	国民健康保険事業(照来施設勘定)	4,544万5千円
	国民健康保険事業(八田施設勘定)	4,248万7千円
	国民健康保険事業(歯科施設勘定)	6,667万1千円
	後期高齢者医療	2億300万2千円
	介護保険事業	15億441万6千円
	浜坂地区残土処分場事業	7,995万2千円
	温泉地区残土処分場事業	1,770万円
	コミュニティ・プラント事業	1億40万9千円
	簡易水道事業	6,314万5千円
	七釜温泉配湯事業	739万6千円
	下水道事業	8億9,704万2千円
公 営 企 業 会 計	浜坂温泉配湯事業	6,696万3千円
	水道事業	5億8,478万7千円
	公立浜坂病院事業	15億8,836万5千円

2 一般会計

(1) 歳入概要

①町税

平成24年度の税制改正、過去の実績及び徴収努力等を勘案し、14億2,548万円としました。

②地方交付税

平成22年度国勢調査結果に基づく世帯数等基礎数値の減、算定費目の整理・統合に伴い廃止される地方再生対策費、雇用対策・地域資源活用推進費の減により2億2,100万円の減額を見込みました。

一方で、普通交付税と振り替わりとなる臨時財政対策債の振替分、新たに創設される地域経済基盤強化・雇用等対策費により3億1,600万円の増額を見込みました。

これらの結果、普通交付税、特別交付税をあわせて地方交付税の総額を48億1,600万円(対前年度比9,500万円増)としました。

③町債

町債の残高及び後年度償還負担に留意しながら過疎債及び合併特例債など後年度交付税算入のある町に負担の少ない有利な起債の発行に配慮しました。

(2) 歳出概要

①人件費

定員適正化計画に基づく改革を着実に実行することを目標としつつ、人事院勧告に基づく改正及び退職者の補充抑制により総額の削減を図りました。

②一般行政経費等

平成24年度は、町合併時から懸案となっていた町道二日市古市線改良事業(道整備交付金事業)を本格実施します。

また、新たな行政施策として、エコ・コンパクトタウン構想推進の一環として、太陽光発電設備事業にも着手します。

行政課題に適切に対応し、町合併によるメリットを最大限に活用し、総合計画をはじめとする既存計画に沿って、限られた財源の範囲内で、優先順位の高いものから事業実施します。

人と人との豊かな関係づくり

・ 自立と協働 ・

「まちづくりは人づくり」の基本理念のもとに、住民が能動的にまちづくりに参加・参画する意識づくりに取り組み、行政のみならず住民や事業者も自らの役割を十分に理解し、相互の協力により、人が輝くまちづくりを進めます。

1 住民が積極的に社会活動に参加するまちづくり

(1) 町歌制作事業

町の統一イメージづくりにより、一体感の醸成と地域の個性を発信するため、協働まちづくり委員会で町歌制定に向けた取組を進めます。

○予算額 151万2千円(151万2千円)

○担当課 企画課

(2) 新温泉町女性団体育成事業(新温泉町婦人会補助金)

町内の各種女性団体相互の連絡調整や各地域婦人会員相互の親睦を深め、社会に貢献するとともに女性の自立と教養・福祉の向上を図ります。

○予算額 34万4千円(34万4千円)

○担当課 教育委員会 社会教育課



2 健全な行財政を運営するまちづくり

(1) 行財政改革の推進

分権型社会に対応し、将来にわたり強固な財政基盤と住民満足度の高い行政体制を確立するため、第2次行財政改革大綱・実施計画(H22～H26)に沿った取組を全庁あげて推進します。

○予算額 13万7千円(13万7千円)

○担当課 総務課

3 連携・交流を促進するまちづくり

(1) 山陰海岸ジオパーク構想推進事業

住民が町に自信と誇りを持てるまちづくり活動と観光振興、環境保全、教育活動、地場産業の振興を図るため、世界的な評価を得た山陰海岸のジオパーク構想を推進します。山陰海岸ジオパーク推進協議会と連携して各種事業を推進するほか、ジオスポット等の案内板、遊歩道の整備、山陰海岸ジオパーク館の展示資料等の収集や集客事業を実施しながら、魅力ある施設づくりと町ジオネットを通じてガイド養成を行います。また、遊覧船発着場の移設に伴い、観光客の誘客と遊覧船の後継者育成に努めます。

○予算額 2,030万2千円(2,591万円)

○担当課 商工観光課

(2) 山陰海岸ジオパーク国際学術会議「湯村会議」

※新規事業

ジオパーク活動のアジアにおける知の拠点化をめざすとともに、山陰海岸を国内外に大きくアピールするため、山陰海岸ジオパーク国際学術会議「湯村会議」を開催します。

○予算額 100万円(一)

○担当課 商工観光課



ジオウォーク

(3) 婚活プロジェクト連絡協議会運営事業

過疎化・少子化対策の一環として社会全体で結婚を応援し、独身男女の出会いの場を提供するため、「新温泉町婚活プロジェクト連絡協議会」と連携を図り、具体的な婚活事業の推進方法等を協議します。

○予算額 16万9千円(16万9千円)

○担当課 企画課

(4) 第19回但馬“牛まつり”事業

ポスト祭典事業の一つとして、但馬牛をテーマに但馬の人が集い、楽しむとともに、但馬を訪れる交流人も気軽に参加できるイベントとして、但馬ふるさとづくり協会の支援を受け開催します。

○開催日 平成24年9月23日

○予算額 100万円(100万円)

○担当課 温泉総合支所地域振興課



但馬“牛まつり”

(5) 第13回全日本かくれんぼ大会

参加者が「おに」になり、街中の「隠れ人」を探して駆け回ること、楽しみながら湯村温泉街を知ってもらうイベントです。全日本かくれんぼ協会に委託します。

○開催日 平成24年6月17日

○予算額 80万円(80万円)

○担当課 温泉総合支所地域振興課



全日本かくれんぼ大会

(6) 国際交流事業

新温泉町国際交流協会を中心に、南太平洋大学及び香港大学等学生の受入れを公式プログラムとして行うとともに、中学生の国際理解教育促進のために姉妹校交流の支援を行うことで、町民の国際意識の醸成を図ります。

○予算額 557万2千円(591万2千円)

○担当課 商工観光課、学校教育課



南太平洋大学留学生受入れ

(7) 子ども農山漁村交流プロジェクトの推進(グリーンツーリズム関連)

小学生の農山漁村での長期宿泊体験を勧めるプロジェクトを20年度より開始し、22年度には「新温泉町いなか体験協議会」を設立し、受け入れ体制づくりに取り組んでいます。24年度についても引き続き、京阪神を中心に事業展開を進めていきます。

○予算額 128万3千円(276万6千円)

○担当課 商工観光課

(8) まちなか振興モデル事業

空き店舗を活用した湯村温泉市街地の賑わいづくりのため、地域の食文化を活かした事業を展開します。

○予算額 225万5千円(100万円)

○担当課 商工観光課

(9) まち歩き案内所運営事業 ※新規事業

まちの観光案内所機能に加え、まちづくりグループなど住民活動の拠点施設としての活用により、住民参加による交流人口の増大を図ります。

○内 容 自主活動団体を支援、観光施設のネットワーク化、商店街の活性化

○予算額 77万9千円(—)

○担当課 商工観光課

安心な暮らしづくり

・ 安心 ・

防災体制の強化、消防救急体制の充実、施設・資機材の整備、情報ネットワークの拡充及び各種訓練活動の促進に努めます。

また、生活の安全を確保するため、交通安全対策や防犯対策を進めます。

さらに、健康診断や健康教室、介護予防事業の推進など保健、福祉、医療が連携した効果的な健康づくり対策を進めるとともに、海と山と温泉に恵まれた自然環境、スポーツ施設を幅広く活用するなど住民総参加の取り組みの充実に努めます。

1 災害に強いまちづくり

(1) 急傾斜地崩壊対策事業

急傾斜地の崩壊による災害から住民の生命を保護するため、公共・県単の事業を積極的に推進します。

○対 象 継続5地区

○予算額 1,230万円(1,910万円)

○担当課 建設課

(2) 自主防災組織活動交付金

災害発生時における応急活動を円滑に行うため、自主防災組織等が実施する防災・消火訓練に対し、活動交付金を交付します。

○内 容 1地区あたり1万円と参加1世帯につき100円

○予算額 70万7千円(71万3千円)

○担当課 町民課、温泉総合支所地域振興課

(3) 消防車両等の更新

浜坂支団の消防ポンプ車1台、温泉支団の可搬式ポンプ3台を更新し、地域防災力の向上を図ります。

○予算額 2,736万2千円(3,529万4千円)

○担当課 町民課、温泉総合支所地域振興課

(4) 消火栓等水利整備事業

消火栓を浜坂地域に移設2基、本体取替1基を整備し、温泉地域に新設1基、2基を改修し、地域防災力の向上を図ります。

○予算額 303万円(1,821万9千円)

○担当課 町民課、温泉総合支所地域振興課

(5) 美方広域消防本部負担金

美方郡広域事務組合に拠出し、火事や救急時等における常備消防組織を維持することで、住民の安心・安全を図ります。24年度は高規格救急自動車を更新します。

○予算額 3億2,154万7千円(3億1,977万1千円)

○担当課 町民課

(6) 居組地区防災等多目的広場整備事業

中心市街地及び医療機関から離れた地域の緊急・防災対策として、居組地区にヘリポート機能を備えた防災等多目的広場を整備し、地域住民が安心して暮らせる災害に強いまちづくりを推進します。

○予算額 5,099万円(248万9千円)

○担当課 企画課

(7) 防災等緊急情報提供の機能強化事業

※新規事業

非常時の連絡体制の強化のため防災行政無線とCATVの機能強化を図ります。防災行政無線の操作卓を改修し、また、今後のデジタル化を見据えたデジタル対応機能を付加するなど、無線情報伝達の安定を図ります。

○予算額 2,832万2千円(—)

○担当課 町民課

(8) ひょうご防災ネットの運営

地震、水害等の発生時に携帯電話のメール機能やホームページを活用して直接に災害情報や避難情報などの緊急情報を発信するシステムをエリア

メールと連動させ、運営します。

○予算額 88万2千円(88万2千円)

○担当課 町民課

(9) 全町一斉防災訓練の実施 ※新規事業

地域や校区単位で実施してきた防災訓練を全町一斉で実施します。訓練の効果を高めるため、自主防災連絡会の再構築を行うとともに防災講演会を実施します。

○予算額 7万4千円(一)

○担当課 町民課

(10) 林野火災用活動拠点広場整備事業 ※新規事業

八田地域の防災拠点として、大規模な林野火災にも対応できる、ヘリポートや防火水槽などの設備を備えた広場を八田小学校跡地に整備します。24年度は設計業務を行います。

○予算額 400万円(一)

○担当課 温泉総合支所地域振興課

2 安心に暮らせるまちづくり

(1) 消費者行政の推進

悪質商法や多重債務等、消費者問題への対応を強化し消費者行政の推進を図るため、国の事業を活用して専門相談員を設置するなど、相談窓口の充実を図ります。

○予算額 340万2千円(410万2千円)

○担当課 町民課、温泉総合支所地域振興課

(2) 町道新設改良事業

住民の生活基盤である町道整備拡充を図ります。

○内 容 ・工事 町道池ヶ平線ほか5路線
・用地補償費

○予算額 2,560万円(3,637万円)

○担当課 建設課

(3) 小児救急医療電話相談窓口設置事業

※新規事業

県下の電話相談窓口は#8000番で設置されていますが、相談件数が多くつながりにくい状況に

あるため、但馬3市2町で連携し、但馬圏域に相談窓口を設置します。

○予算額 12万9千円(一)

○担当課 健康課

(4) 橋梁長寿命化修繕計画策定事業 ※新規事業

町が管理する道路橋を安心・安全に利用していただくため、橋梁長寿命化(維持管理)計画を策定し、計画的に修繕していく予防保全型維持管理に取り組みます。

○予算額 2,535万円(一)

○担当課 建設課

(5) 道路整備交付金事業

幹線道路を改良整備し、安全性、利便性の向上を図ります。

○内 容 町道二日市古市線道路改良工事

○予算額 3億8,812万7千円(0円)

○担当課 建設課

3 健康に生きるまちづくり

(1) 健康増進事業

①地域・職域等と連携し、特定健診や各種がん検診等の受診率向上を図ることで、町民の健康増進に努めます。

②食の大切さを理解し、健康推進を図るため、食生活改善推進員養成講座を引き続き開設します。

③がん検診推進事業(乳がん、子宮がん、大腸がん)を継続し、節目年齢を中心に勧奨を行い、受診率の向上を図ります。

④自殺対策事業を継続し、早期相談・受診しやすい職域・地域づくりのための啓発を行います。

○予算額 2,403万5千円(2,334万5千円)

○担当課 健康課(保健福祉センター「すこやか〜に」)

(2) 母子保健事業

母子のすこやかな成長発達を促進するため、健診・相談の充実と認定こども園等専門機関と連携した育児支援と体制づくりに努めます。また、う歯有症率が高いことから、基本的生活習慣の確立

を目的とした食育・お口の健康づくりの充実を図ります。

○予算額 389万6千円(412万円)

○担当課 健康課(保健福祉センター「すこやか〜に」)

(3) 妊婦健康診査費助成事業

健康で元気な赤ちゃんを出産するために、妊婦に対し、妊婦健康診査費を助成します。出産までに必要とされる14回の健康診査が完全に受診できるよう奨励し、その費用を助成し経済的支援を行います。

○助成額 上限8万円

○予算額 750万円(800万円)

○担当課 健康課(健康福祉センター「すこやか〜に」)

(4) 子宮頸がん等ワクチン接種事業

ワクチンの予防接種費用の全額を助成し、経済的負担を軽減するとともに、疾病の発生を予防し、市民の健康増進を図ります。

○対象 ・子宮頸がん 中学1年～中学2年
・ヒブ 2ヶ月齢～5歳未満
・小児用肺炎球菌 2ヶ月齢～5歳未満

○予算額 1,250万5千円(1,930万9千円)

○担当課 健康課(保健福祉センター「すこやか〜に」)

(5) 特定健診事業(国民健康保険関連事業)

本年度も40歳から74歳までの方を対象に特定健診を実施します。23年度の結果を踏まえ住民への周知と必要性の啓発に努め、若い世代からの健康に対する意識付けと生活習慣病予防を推進します。

また、国保対象者の無料受診を引き続き実施し、受診率向上を図ります。

○予算額 771万3千円(808万9千円)

○担当課 健康課

(6) 病院情報システム導入 ※新規事業

電子カルテシステム及び関連システムを導入することにより、患者サービスの向上、業務の効率化、医療安全の向上、医療の質の向上など、将来を見据えた整備を行います。

○予算額 2,556万2千円(一)

○担当課 公立浜坂病院

4 安心して子育てができ、高齢や障がい者等が暮らせるまちづくり

(1) 認定こども園、ふれあいセンター運営事業

浜坂・大庭・明星認定こども園は、開設4年目、ふれあいセンターは8年目となり、各園とも、より充実した保育・教育の提供を図ります。職員研修を充実させ、職員資質の向上を図ります。

○予算額 1億8,438万5千円(2億3,097万3千円)

○担当課 福祉課

(2) 浜坂子育て支援センター運営事業

旧浜坂幼稚園園舎を活用し、開設して4年目を迎える子育て支援センターのより充実した体制整備を行い、事業内容の充実を図ることで、利用者が相談しやすい体制を整えます。

○予算額 656万1千円(670万2千円)

○担当課 福祉課

(3) 放課後児童健全育成事業

保護者が就労等により昼間家にいない小学生の児童に対し、放課後に遊びと生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ります。温泉地域においても、25年度から受入開始できるよう施設改修を行います。

○予算額 978万8千円(580万7千円)

○担当課 福祉課

(4) 子どものための手当支給事業

次代の社会を担う子どものすこやかな育ちを支援するために子どものための手当を支給します。

○対象 中学終了までの子ども

○内容 ・3歳児未満：1人月額15,000円
・3歳児以上：1人月額10,000円
・第3子以降：1人月額15,000円

○予算額 2億3,593万6千円(2億8,643万5千円)

○担当課 福祉課

(5) 福祉医療費助成事業

県福祉医療費助成事業に加え、町単独助成を継続して実施することで、対象者が安心して医療を受けられるよう福祉の充実を図ります。(老人医療費、

重度障害者医療費、母子家庭等医療費、高齢重度障害者医療費、寡婦医療費等の助成を実施)

○内 容 老人医療費、重度障害者医療費、母子家庭等医療費、高齢重度障害者医療費、寡婦医療費等の助成を実施

○予算額 6,897 万 7 千円 (6,409 万 7 千円)

○担当課 健康課、温泉総合支所地域振興課

(6) 乳幼児等医療費助成事業

少子化対策として、引き続き小学 6 年生までの乳幼児等が、安心して医療が受けられるよう町単独助成を継続実施し、福祉の充実を図ります。

○予算額 3,138 万円 (2,866 万 2 千円)

○担当課 健康課、温泉総合支所地域振興課

(7) こども医療費助成事業

子育て世代が安心して子育てできるよう、精神的・経済的負担が大きい医療費を助成し、福祉の充実を図ります。

○対 象 入院医療費：中学 1 年生～中学 3 年生

○予算額 42 万 4 千円 (176 万 9 千円)

○担当課 健康課、温泉総合支所地域振興課

(8) 高齢者福祉タクシー助成事業

高齢者世帯 (75 歳以上) がタクシーを利用する場合に、その料金の一部を助成します。

○内 容 ・助成 1 回 5 0 0 円

・上限 一人月 2 回、年間 24 回まで

○予算額 367 万 9 千円 (1,065 万 8 千円)

○担当課 福祉課、温泉総合支所地域振興課

(9) 生きがい活動支援通所事業

高齢者の生きがい、孤立解消の事業 (健康指導・相談、趣味の講座等) を実施し、介護予防や高齢者の健康保持に努めます。

○予算額 797 万 6 千円 (841 万円)

○担当課 福祉課、温泉総合支所地域振興課



(10) 長寿祝福・敬老祝福事業

①最高齢者祝福、百寿、米寿、金婚夫婦のお祝い

②地域敬老会開催事業補助

地域で敬老思想を高め、地域コミュニティを図るため、敬老会事業に助成します。

○予算額 349 万 7 千円 (348 万 1 千円)

○担当課 福祉課、温泉総合支所地域振興課

(11) 障がい者支援・自立支援給付事業

障害者自立支援法による、在宅サービス、施設利用サービスの給付費、更生医療費等の給付支援を行います。また、県からの事務移譲により、療養介護給付・相談支援等を行います。

○予算額 2 億 5,242 万円 (2 億 1,808 万 2 千円)

○担当課 福祉課、温泉総合支所地域振興課

(12) 障がい者支援・地域生活支援事業 (地域活動支援センター)

障がい者等を通所させ、創作活動及び生産活動の機会を提供し、障がい者等の地域生活支援の促進を図るため、①地域活動支援センターいずみ、②地域活動支援センターいわつばめ、③地域活動支援センターのぎく作業所等に運営補助し生産活動、訓練作業の支援を行います。

○予算額 2,282 万 6 千円 (2,282 万 6 千円)

○担当課 福祉課、温泉総合支所地域振興課

(13) 障がい児日中一時支援事業

小学校の長期休業期間において、障がい児をもつ家族の就労を支援するとともに、介護の一時的な負担軽減を図ります。

○予算額 100 万 8 千円 (108 万 6 千円)

○担当課 福祉課、温泉総合支所地域振興課

(14) 身体障がい児療育訓練事業

理学療法士による身体障がい児の個別訓練を実施し、自立に向けた支援、家族への支援を行います。

○予算額 57 万 6 千円 (57 万 6 千円)

○担当課 健康課、温泉総合支所地域振興課

こころ豊かな人づくり

- 誇り・生きがい -

生涯学習を可能にする確かな学力の定着を図るとともに、個性、能力を伸ばす教育と相手を思いやる「豊かな心」を育み、たくましい体づくりを目指した教育を進めます。

また、世界的な自然遺産の保全、継承などにより、自然保護、地域内連携による郷土学習の推進を図り、ふるさとを愛する青少年を育成します。さらに、本町には恵まれた自然環境の中に各種の体験、地域資源発信施設が配置されており、これらの活用を通して、芸術やスポーツ、学習について、世代間、地域間交流を深め、豊かな人間形成を進めます。

1 人権が尊重されるまちづくり

(1) 人権啓発推進事業

人権啓発推進条例及び人権啓発方針に基づきあらゆる差別の解消をめざし、「差別をなくし人権文化を進める町民運動」として、各種団体・各地域における人権学習会、街頭啓発、人権講演会などを実施します。また、自立した男女があらゆる分野において、ともに参加・参画することができる社会づくりのための「第2次新温泉町男女共同参画社会プラン」を策定し、啓発と環境づくりを推進します。

○予算額 254万9千円(258万8千円)

○担当課 人権推進室(文化会館)

(2) 隣保館活動事業

福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点として、人権学習、交流スポーツ大会、教養文化教室、交流文化祭、各種相談などの学習・交流事業を実施し、地域社会に密着した社会福祉施設として人権教育及び人権啓発を推進します。

○予算額 411万8千円(424万3千円)

○担当課 人権推進室(文化会館)

(3) 人権学習事業

人権教育にかかる課題解決と人権が真に尊重される社会の実現をめざし、地域の教育活動や人権に関わる文化創造活動を進めます。

○内 容 ・人権学習事業(ささゆり・ひまわり)
・新温泉町人権教育推進協議会交付金
・新温泉町人権セミナーの開催

・人権啓発冊子「ひらり第7号」印刷事業

○予算額 428万3千円(437万1千円)

○担当課 教育委員会 社会教育課



人権パレード

2 次世代の担い手を育成するまちづくり

(1) 環境体験事業及び自然学校推進事業

①環境体験事業

小学3年生を対象に自然体験活動を通して自然の大切さ、命の大切さ、命のつながり、美しさに感動する豊かな心を醸成します。

②自然学校推進事業

小学5年生を対象に学校のを教室から豊かな自然の中へ移し、児童が人や自然とのふれ合い、地域社会への理解を深めるとともに、心身ともに調和のとれた健全な児童の育成を図ります。

○予算額 321万6千円(388万8千円)

○担当課 教育委員会 学校教育課

(2) トライやる・ウィーク推進事業

中学2年生が職場体験を通じ地域に学び、ともに生きる心や感謝の心を育み、自立性を高めるなど、「生きる力」の育成を図ります。

- 予算額 150万円(150万円)
- 担当課 教育委員会 学校教育課

(3) 小学生山陰海岸ジオパーク学習事業

世界ジオパークに認定されている山陰海岸のすばらしさについて、遊覧船を活用して海から現地を見る学習をします。

- 内 容 遊覧船を利用した現地見学など
- 予算額 14万2千円(15万円)
- 担当課 教育委員会 学校教育課

(4) スクールアシスタント配置事業

A D H D等により行動面で著しく不安定な児童や、その児童が複数在籍する学校への支援として、町単独でスクールアシスタントを小中学校へ配置し、一人一人の実態に即した効果的な指導を行い、課題解決を図ります。

- 予算額 1,200万5千円(1,196万3千円)
- 担当課 教育委員会 学校教育課

(5) 新温泉町青少年健全育成推進事業

学校と家庭・地域が連携し、青少年の異年齢交流、異世代交流活動を実施し、思いやりのある心豊かな創造性や積極的な社会参加の意欲を培います。また、地域において子どもが安心・安全に過ごせる環境づくりに努めます。

- 予算額 166万1千円(162万4千円)
- 担当課 教育委員会 社会教育課

(6) 新温泉町ふるさとの成人式

新温泉町に生まれ育ち、二十歳の成人式を迎え、自らの力で生き抜いていこうとする新成人を町を挙げて祝福する機会として開催します。

- 開催日 平成25年1月13日(日)
- 場 所 新温泉町夢ホール
- 予算額 102万円(104万5千円)
- 担当課 教育委員会 社会教育課

(7) 青少年育成指定コミュニティスポーツ事業

豊かな可能性を秘めた青少年の健全育成を図るため、家庭・学校・地域・行政が連携し、地域におけるスポーツを通じた青少年活動の活性化及び青少年と地域とのふれあいを深める機会として実施します。

- 内 容 ビーチサッカー教室・大会
- 開催日 平成24年8月25日(土)・26日(日)
- 予算額 178万4千円(159万4千円)
- 担当課 教育委員会 社会教育課

(8) 浜坂北小学校エレベータ改修事業 ※新規事業

特別な支援を要する児童等が安心して学校生活を送ることができるよう、エレベータを改修します。

- 予算額 1590万円(—)
- 担当課 教育委員会 学校教育課

3 生きがい・楽しみ・誇りづくり

(1) ビーチフェスタ

新温泉町誕生の記念事業としてスタートした事業であり、さらに町が推進する山陰海岸ジオパーク構想実現への気運の醸成を図るため、山陰海岸国立公園である浜坂県民サンビーチで開催します。海の素晴らしさを体感しながら、ビーチスポーツを通じて健康づくりを実践いただける新たな交流の場としての定着をめざします。

- 開催日 平成24年8月5日(日)
- 予算額 60万円(60万円)
- 担当課 教育委員会 社会教育課



ビーチフェスタ

(2) 第25回新温泉町麒麟獅子マラソン大会

本町の伝統文化である麒麟獅子をタイトルとした歴史あるマラソン大会を開催し、町民の体力増進・健脚を競うとともに町外からの大勢の参加をいただくことで、町に活力と観光振興を与え、経済効果を図ります。併せて町の観光PR、地元の情報発信で都市との交流の場とします。

○開催日 平成24年5月27日(日)

○予算額 170万円(170万円)

○担当課 教育委員会 社会教育課



麒麟獅子マラソン大会

(3) 新温泉町文化祭

文化活動の実践者が一堂に集まり、その活動を広く町民の皆さまに紹介し、地域文化の創造と文化活動の高揚を図ります。

○内 容 ・浜坂会場

作品展、お茶席、文化講演会、舞台発表、菊花展

・温泉会場

作品展、お茶席、文化講演会、舞台発表、模擬店の出店

○予算額 39万6千円(40万1千円)

○担当課 浜坂公民館、温泉公民館



新温泉町文化祭

(4) 公民館講座開設

○内 容 ・浜坂公民館

女性教養、男子調理、素敵にハンドメイド、いろいろ小物作り教室

(児童向け講座 金管バンド、自然体験)

・温泉公民館

絵画、書道、立体ちぎり絵、パソコン教室

(児童向け講座 コーラス)

○予算額 137万9千円(141万4千円)

○担当課 浜坂公民館、温泉公民館

(5) 新温泉町立高齢者大学

生涯学習の機会を提供し、楽しく学び、趣味、教養を高め、生きがいのある生活を創造していただくため、年間を通じて開講しています。

○内 容 ・宇都野学園

教養講座、専門講座、大学院講座、運動会、修学旅行、遠足、学園祭等

・とちのみ学園

教養講座、専門講座、運動会、修学旅行、遠足、学園祭等

○予算額 123万8千円(128万)

○担当課 浜坂公民館、温泉公民館

(6) 「前田純孝」顕彰事業

郷土の先人「前田純孝」を顕彰するとともに、若い人たちに短歌に関心を持っていただくため、第18回「前田純孝賞」学生短歌コンクールを開催します。

○予算額 63万8千円(72万4千円)

○担当課 浜坂先人記念館「以命亭」

(7) 「宇野雪村」顕彰事業

郷土の先人「宇野雪村」を顕彰するとともに、書道文化の普及を図るため、第13回「宇野雪村賞」全国書道展を開催します。また、共催事業として町内の小中学生を対象とした第10回「新温泉町小中学生書作品展」を開催します。

○予算額 204万2千円(223万3千円)

○担当課 浜坂先人記念館「以命亭」

(8) 「新温泉町ジオパークフォトコンテスト」事業

町民が自分たちの住んでいる「新温泉町」の素晴らしさを再発見する機会として、新温泉町の風景・行事等を題材とした写真作品を「新温泉町ジオパークフォトコンテスト」として広く募集し、その優秀作品を表彰するとともに、第8回「新温泉町の四季わが町再発見写真展」として展示します。

○予算額 12万円(12万円)

○担当課 浜坂先人記念館「以命亭」

(9) 移動図書館運営事業

但馬で唯一の移動図書館業務を一年を通して安全かつ効率的に行い、幅広い地域でより多くの町民の方々への図書資料の提供を図ります。

○内 容 ・浜坂地域、温泉地域とも

4コース 30ステーションを巡回

○予算額 21万1千円(15万3千円)

○担当課 加藤文太郎記念図書館

(10) 図書館図書整備事業

住民の多様なニーズに応えるため、幅広く新鮮な資料を豊富に収集し、きめ細やかなサービスの提供に努め、気軽に利用できる図書館づくりを進めます。また、当館の特色である「山岳」や「郷土」に関する資料の収集及び、寄贈図書の装備にも努め、蔵書の充実を図ります。

○予算額 529万4千円(531万7千円)

○担当課 加藤文太郎記念図書館

(11) 図書予約システム提供事業 ※新規事業

図書館情報システムのネットワークを光回線に接続することにより、すでに提供しているインターネットによる蔵書検索システムに加え、蔵書予約システムも年度内に提供を開始し、利用者の利便性を更に高めます。

○予算額 47万9千円(—)

○担当課 加藤文太郎記念図書館

(12) 浜坂先人記念館開館20周年記念事業

※新規事業

地域の歴史・文化、また先人顕彰の拠点施設「浜坂先人記念館」は、平成4年7月12日にオープンして、24年度で開館20周年を迎えるにあたり、その記念として特別企画展を開催します。

○内 容 特別企画展「新温泉町の至宝(指定文化財)展」・「新聞・写真で振り返る新温泉町(浜坂・温泉)20年の歩み」、看板等の改修

○予算額 67万5千円(—)

○担当課 浜坂先人記念館「以命亭」



浜坂先人記念館「以命亭」

(13) 夢ホール事業

芸術文化の発信拠点として、町民の交流の場として感動を共有できる事業を実施します。24年度は、新しくコンテンポラリーダンスを取り入れた「公共ホール現代ダンス活性化事業」に取り組みます。

○内 容 クラシックパーク(アウトリーチ&コンサート)、映画鑑賞会など

○予算額 227万2千円(225万4千円)

○担当課 温泉公民館



クラシックパークコンサート

豊かな地域産業づくり

・ 活力 ・

第1次、第2次、第3次産業間の連携、一体化により、産業構造の強化を図ります。さらに、伝統産業技術の後継者育成の支援や企業誘致を進め、雇用の安定、創出に努めます。あわせて、各産業の後継者確保や担い手の育成、若者の定住促進を目指し、雇用対策の充実、都市部の団塊の世代をはじめとしたUJIターンの受け入れ態勢の拡充を図ります。

また、海と山と温泉などのツーリズム資源を融合させ、多彩なスタイルによる交流を創造するとともに、交流型観光を推進します。さらに、近年の観光客のニーズに対応するとともに、住民一人ひとりがわが町に誇りを持っておもてなしをすることで、地域にさらに魅力をもたせていきます。

1 産業間の連携と人材を育成するまちづくり

(1) 新卒・Uターン激励会・若者町内施設利用券の発行

新社会人を対象に激励会を開催します。あわせて町内施設利用券を交付し、まちづくりへの参画を促します。

○予算額 11万3千円(15万7千円)

○担当課 商工観光課

(2) 雇用再生・創出事業

地域の雇用再生、失業者の雇用機会確保のため、県補助事業を活用したふるさと雇用再生事業(1事業)、緊急雇用創出事業(1事業)を実施し、地域における雇用機会の創出を図ります。

○予算額 553万8千円(3,053万5千円)

○担当課 商工観光課

(3) 新温泉町若者再就職促進奨励金

景気回復の兆しが見えない経済状況の中、再就職が極めて困難な状況にあり、長期間就業できない若年失業者に対する緊急経済措置として支援します。

○予算額 100万円(250万円)

○担当課 商工観光課

(4) 新温泉町定住促進住宅取得助成金

過疎化による人口減少を抑制し、町内の若者の定住促進及び本町へのU・J・Iターンの住宅支援を図るため、町内で新たに住宅を購入する、又は増改築を行う費用の一部を助成します。定住人口の確保に

併せて、町内の住宅関連産業の振興を図ります。

○予算額 600万円(650万円)

○担当課 商工観光課

2 自然活用型産業を振興するまちづくり

(1) 中山間地域総合整備事業(H20～H24)

農業生産条件が不利な中山間地域の事情を踏まえ、それぞれの立地条件に即した農業生産基盤の整備を総合的に行い、農業と農村の活性化を図るとともに、定住化を促進し、国土・環境の保全に資するため、農業用排水施設、農道、ほ場、防災安全施設等、農村施設の一体的な整備を行います。

○対象 浜坂地域

○予算額 5,066万4千円(5,591万5千円)

○担当課 農林水産課

(2) 中山間地域等直接支払事業(第三期:H22～H26)

担い手育成による、農業生産活動等の維持を通じて、耕作放棄地発生を防止し、農地の多面的機能の保全を図ります。中山間地域等と平地地域との生産条件の不利を補正します。

○予算額 9,741万8千円(9,745万2千円)

○担当課 農林水産課

(3) 環境対策育林事業(第三期:H24～)

環境林としての森林整備を行って林床植生を豊かにし、水源かん養機能等の公益的機能を高めて住民

生活の安全確保を図ることを目的に、増加する施業
放置の解消に努めます。

- 対 象 スギ、ヒノキの人工林、材齢 16 ～
45 年生が対象
- 予算額 543 万 2 千円 (648 万 9 千円)
- 担当課 農林水産課

(4) 森林整備地域活動支援事業 (第三期: H24 ～)

森林経営計画が策定されている森林において、既
存の作業路網を簡易で丈夫な路網に転換していくた
めの点検・改良活動に対して支援します。

- 対 象 森林経営計画作成森林に限定し、協定
に基づき地域活動を行う者
- 予算額 1,739 万 8 千円 (1,763 万 7 千円)
- 担当課 農林水産課

(5) 畜産振興 (優良牛確保) 事業

全国和牛の改良用素牛供給地としての役割を十分
認識し、良質の但馬牛生産の安定化を図り、育種基
地として優良牛の確保に努めます。

- 内 容 ・ あっせん会 2 頭、市導入・自家保
留 54 頭 計 56 頭
・ 波系加算 1 頭
- 予算額 395 万円 (230 万円)
- 担当課 農林水産課

(6) 水産振興事業

漁業を取り巻く厳しい状況を打開するため、漁業
者への支援事業を行うとともに水産物の流通販売の
活性化に取り組みます。

- 内 容 ・ 漁獲共済加入推進事業
対象件数 計 40 経営体
- ・ 漁貝類等増殖事業 (アワビ等稚貝購
入、ヒラメ・マダイ中間育成後放流)
- ・ 水産等活性化事業 (地域水産物販売)
ホタルイカ等 PR 販売、松葉ガニ (ズ
ワイガニ) タグ製作
- ・ 漁船建造資金利子補給事業
対象漁船 2 隻
- 予算額 438 万 7 千円 (438 万 7 千円)
- 担当課 農林水産課

(7) 漁港整備事業

県営漁港内の航行の安全及び漁業活動の省力化と
安全を図るため、漁港施設の整備を行います。

- 内 容 漁港航路浚渫 (浜坂・諸寄) 一式
- 予算額 315 万 1 千円 (617 万 8 千円)
- 担当課 農林水産課

(8) 新規就農総合支援事業 ※新規事業

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るた
め、就農前の研修期間 (2 年以内) 及び経営が不安
定な就農直後 (5 年以内) の所得を確保するため、
給付金を支給します。

- 対 象 原則 45 歳未満
- 予算額 782 万 8 千円 (一)
- 担当課 農林水産課

(9) 農業者戸別所得補償制度推進事業 ※新規事業

① 農業者戸別所得補償制度推進事業

システム運営など制度運営に必要な経費を措置す
るとともに、生産数量目標の設定、作付面積の確認
等を行う経費を助成します。

② 戸別所得補償経営安定推進事業

平地で 20 ～ 30ha の土地利用型農業をめざすた
め、集落での話し合いに基づき地域の中心となる経
営体を定めるとともに、その経営体への農地の集積
を促進します。

- 予算額 561 万 3 千円 (一)
- 担当課 農林水産課

(10) 畜産振興 (利子補給) 事業

① 但馬牛増頭資金利子補給事業 (新設)

繁殖雌牛の導入資金借入金に対し町が利子補給を
行い、但馬牛の産地として新温泉町の但馬牛の増頭
を図ります。

② 子牛代金前払制度利子補給事業

子牛生産から販売までの育成資金借入金に対して
利子補給を行います。

- 予算額 27 万 4 千円 (13 万 6 千円)
- 担当課 農林水産課



(11) 農業体質強化基盤整備促進事業

23年度に国の4次補正に創設され、24年度継続して農地、農業用水利施設の整備をきめ細かく実施し、経営規模の拡大や戦略作物、地域振興作物の生産を促進します。

○予算額 4,198万3千円(0円)

○担当課 農林水産課

(12) 県営農村災害対策整備事業

奥八田地区は、4集落の上部を流れる全長3,500mの石橋用排水路があり、近年施設の脆弱化等に伴って、決壊や越水を招いており、周辺農用地や民家等に被害を与えるおそれがあるため、農業用排水施設及び農災施設整備事業を県営事業により実施します。

○対象 奥八田地区

○予算額 480万円(0円)

○担当課 農林水産課

3 交流型産業を振興するまちづくり

(1) 観光協会補助金

観光産業の全体振興のため、浜坂・湯村温泉両観光協会に補助金を交付します。また、観光の一体化をめざすため、観光振興協議会の活動を推進します。また、各種イベント(カニ祭り・ほたるいか祭り・ゆむら灯火の景・おもしろ夢体験等)を支援します。

○予算額 1,930万1千円(1,930万1千円)

○担当課 商工観光課、温泉総合支所地域振興課

(2) 観光PRバスラッピング事業 ※新規事業

神戸浜坂間特急バス、本町公用マイクロバスに町の観光PRのため地域資源を表現したラッピング広告を行うことで、阪神間等からの集客増を図ります。

○予算額 318万1千円(—)

○担当課 商工観光課

4 商工業を活性化するまちづくり

(1) 産業活性化アドバイザー会議

本町出身者等、各界識者で産業活性化アドバイ

ザー会議を設置し、提言を聴取しながら町内産業活性化の活路を開きます。

○予算額 18万円(24万1千円)

○担当課 商工観光課

(2) 町内中小企業対策事業

① 中小企業振興資金融資預託金

町内中小企業の資金確保の円滑化のため、預託を実施します。

② 中小企業震災対策特別利子補給金

東日本大震災以降、国内不況の影響を受けて業績が悪化した中小企業に対し、経営の安定を図るため、利子補給を行います。

○予算額 1億32万4千円(1億4,000万円)

○担当課 商工観光課

(3) 企業立地促進奨励金

企業誘致の促進と既存企業の育成を図るため、町内に新設・増設を行う事業所に対し、奨励金を交付し、産業振興と雇用拡大につなげます。

○予算額 200万1千円(153万7千円)

○担当課 商工観光課

(4) 商工会補助金

商工業の振興のため、新温泉町商工会に補助金を交付します。

○予算額 1,422万6千円(1,479万6千円)

○担当課 商工観光課

(5) プレミアム商品券発行事業

新温泉町商工会が行うプレミアム商品券発行事業に係る補助について、24年度も引き続き行います。

○予算額 170万円(170万円)

○担当課 商工観光課

(6) 新温泉町地域資源活用促進事業補助金 ※新規事業

第1次産業の活性化と「6次産業化」を図るため農産物や水産物の加工を促進し、地域の特色ある資源を活かしたまちおこしに取り組む団体を支援します。

○予算額 300万円(—)

○担当課 商工観光課

住みたくなる環境づくり

・ 快適・生活環境 ・

本町は、上山高原をはじめとした森林、河川沿いの谷筋に広がる田園、港町や旧街道沿いの町並み、海辺の空間など、町の魅力の基本となる多様な景観を有しています。こうした景観を基盤に、良好で快適な生活環境を維持し、高めることに努めます。

また、浜坂中心市街地の活性化と秩序ある土地利用を進めます。

1 自然を守り育てるまちづくり

(1) 農地・水・環境保全向上対策事業

①共同活動支援交付金

農地や農業用水、ため池といった農業・農村資源を、食料の安定供給、多面的機能の発揮に不可欠な「社会共通資本」と位置付けて、地域ぐるみの保全活動を実施するため、集落を単位に農村保全活動組織を発足し、活動計画等について町と協定を結び、その実践活動に助成します。

②向上活動支援交付金

集落を農地・農業用水等の資源の保全管理活動を行う主体と位置付け、水路、農道路肩、ため池の補修や、農道舗装の更新等、施設の長寿命化のための活動を支援します。

○予算額 1,145 万円 (689 万 3 千円)

○担当課 農林水産課

(2) 地籍調査事業

公共事業の円滑な事業推進、災害復旧時の円滑な作業対応、住民間や官民間の境界に関する問題の解消、土地取引の円滑化、課税の適正化等を図るため、国土調査法に基づく地籍調査事業を実施します。

○地 区 諸寄、千原、竹田地区の林道池ノ尾線沿線等

○予算額 2,452 万 8 千円 (2,500 万円)

○担当課 農林水産課

(3) 緊急防災林整備事業（県民緑税活用）

急傾斜、斜面形状等で山地災害防止機能の高度発揮が求められる概ね 45 年生以下のスギ・ヒノキ材を対象に、間伐木を利用した土留工の設置などの森林整備を実施します。環境対策育林実施箇所内を実

施します。

○内 容 簡易土留工等 80ha、看板設置 2 基

○予算額 1,930 万 5 千円 (2,786 万 9 千円)

○担当課 農林水産課

(4) 有害鳥獣防除事業

野生鳥獣による農作物等の被害を防除・軽減し、捕獲により加害獣を適正頭数まで減らすため、兵庫県猟友会浜坂支部会員により編成される有害鳥獣捕獲班に対し、捕獲を委託します。また、有害獣捕獲檻導入、捕獲班員の確保対策を実施します。

○内 容 ・有害鳥獣捕獲事業（事業委託）
銃器、わなによる捕獲
・有害獣捕獲檻導入事業
小動物用檻購入、イノシシ・シカ等檻購入補助
・有害鳥獣捕獲班確保対策事業
射撃訓練、研修参加費
・新規免許取得者確保対策事業
わな猟免許、第 1 種銃猟免許及び銃所持許可取得に係る研修、狩猟講習会、免許試験受験料等の助成

○予算額 479 万 6 千円 (536 万 8 千円)

○担当課 農林水産課

(5) 上山高原エコミュージアムの推進

上山高原エコミュージアムは、自然環境の保全や環境と共生した暮らしを学び、実践する場です。24 年度も上山高原ふるさと館の運営及びエコ体験プログラム事業を推進します。

○予算額 271 万 3 千円 (271 万 3 千円)

○担当課 商工観光課

(6) 自然公園維持管理

自然景観を保全するため、国立公園、国定公園、サンビーチ、バイカモ公園の清掃等を実施します。

○予算額 383万2千円(259万1千円)

○担当課 商工観光課



田君川のバイカモ

(7) 環境保全型農業直接支払事業

地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対して、当該営農活動の実施に伴う追加的なコストを支援します。

○対象 エコファーマー認定者

○予算額 95万2千円(59万8千円)

○担当課 農林水産課

2 快適な生活ができるまちづくり

(1) 情報化推進事業

高度情報通信社会に対応した情報基盤整備計画と情報通信技術・システムの利活用について検討を深め、住民の安心・安全を確立するための情報化を進めます。

○予算額 37万2千円(33万6千円)

○担当課 企画課

(2) CATV機器更新事業

温泉地域の防災・情報提供・行政放送等の要となるCATVサービスについて、安全で安心なサービス提供を行うため、23年度から3か年計画で機器の更新を行います。

○予算額 4,788万円(4,480万円)

○担当課 ケーブルテレビ事業室

(3) 公共交通利用促進事業「新温泉町ふれあいサロン」

浜坂駅構内の一角に鉄道グッズの展示と町の案内所機能をもった鉄道グッズ館「鉄子の部屋」を設置し、足湯とともにさらに駅前の賑わいを創出します。

○予算額 86万7千円(83万4千円)

○担当課 企画課



鉄道グッズ館「鉄子の部屋」

(4) JR山陰本線・播但線輸送改善事業

山陰本線、播但線の沿岸地域の鉄道利便性向上のため、兵庫県及び関係市町村の広域連携による対象線区の地上設備(軌道、駅等)整備改良を実施し、特急「はまかぜ」の新型車両導入による速達性向上のための輸送改善事業に平成25年度まで補助を行います。

○予算額 951万5千円(986万2千円)

○担当課 企画課



特急 はまかぜ

(5) JR利用促進「町民ふれあいの旅」事業

JR浜坂駅の利用促進と町民の親睦と交流を深めるため、町民ふれあいの旅を実施します。

○予算額 26万9千円(23万3千円)

○担当課 企画課



浜坂駅開業100周年記念事業

(6) JR利用促進「職員e－出張」事業

JR浜坂駅の利用促進を図るため、神戸、大阪などへの一人出張時には、「e－出張」により特急はまかぜを利用します。

e－出張とは・・・エコノミー・エコロジーの頭文字をとって、エコ(e)－出張

○予算額 40万1千円(45万1千円)

○担当課 企画課

(7) 交通政策研究会運営事業

町民バス「夢つばめ」をはじめとする公共交通機関の運行にあたり、住民とともに毎年評価、見直しを行いながら、運行の効率化と利便性の向上に努めるため調査、研究を行います。

○予算額 24万8千円(26万9千円)

○担当課 企画課

(8) 町民バス・町民タクシー運行事業

公共交通として、地域住民の生活交通に必要な最低限度の移動手段を維持・確保するため、町全体の自主運行バスを導入しています。また、公共交通機関が運行されていない地域の日常生活支援として、町民タクシー事業を実施します。

○予算額 1億2,887万7千円(1億3,406万9千円)

○担当課 企画課

(9) 中心市街地活性化推進事業(社会資本整備総合交付金)【H21～H25】

浜坂中心市街地における歴史的景観特性を活かした魅力ある拠点整備と観光資源の連携強化による集客力向上及び市街地の活性化を図るとともに、消雪工整備などの都市基盤整備を行い、若年者から高齢者まで全ての町民が安心して暮らせるまちの実現をめざすため、社会資本整備総合交付金事業を実施します。

○内容(本工事)

- ・町道浜坂第30号線他2路線消雪工整備
- ・まちなかサイン整備工事
- ・味原小径舗装修繕工事

(調査)

- ・町道浜坂第39号線他1路線消雪工整備
- ・浜坂ポケットパーク測量設計業務
- ・浜坂温泉源泉測量設計

(公有財産購入費)

- ・味原川環境整備事業

○予算額 8,080万円(1億1,990万円)

○担当課 建設課

(10) 街路事業(県営事業)

都市計画道路浜坂駅港湾線の事業進捗を図ります。

○予算額 4,750万円(3,850万円)

○担当課 建設課

(11) 汚水処理施設共同整備事業

生活排水の浄化対策として稼働している農業集落排水施設・漁業集落排水施設・コミュニティプラント施設・合併処理浄化槽から排出される汚泥や個別の生し尿については、現在、美西浄化センターで処理していますが、効率的に汚水・汚泥処理するための「共同汚水処理施設」の建設工事を行います。

○予算額 1億4,729万9千円(1,000万円)

○担当課 上下水道課

(12) 久斗山簡水 生活基盤近代化事業 ※新規事業

安心・安全な水道水の給水のため、久斗山地区内の既設石綿セメント管の更新工事を行います。

○予算額 1,920万6千円(—)

○担当課 上下水道課

3 地球環境に優しいまちづくり

(1) 不法投棄ごみの回収（緊急雇用創出事業）

ごみのない町をめざし、町内に不法投棄された電化製品や廃タイヤ、ポイ捨てごみなどの回収を行います。実施にあたっては緊急雇用創出事業を活用し、短期雇用・就業機会の創出を図ります。

○予算額 381万2千円（672万4千円）

○担当課 温泉総合支所地域振興課

(2) 北但行政事務組合負担金

循環型社会形成を推進するため、北但行政事務組合が建設するごみ・汚泥処理施設整備に係る進入道路・敷地造成工事等を実施する負担金として拠出します。

○予算額 9,150万5千円（3,058万1千円）

○担当課 町民課

(3) エコ・コンパクトタウン推進事業 ※新規事業

自然の恵みを活かした環境にやさしいまちづくりを進めるとともに、地産地消による地域の活性化をめざし、再生可能エネルギーを活用したまちづくり（エコ・コンパクトタウン）を進めます。

○内 容 ・エコ・コンパクトタウン構想概要版作成
・再生可能エネルギー導入補助金
・温泉バイナリー発電事業連絡協議会

○予算額 312万5千円（－）

○担当課 企画課

(4) ごみ減量化実践行動計画（仮称）の推進

一般廃棄物処理基本計画の改訂に伴い、28年度を目標とした実践行動計画を定め、24年度中には①燃えるごみのうち「プラスチック製容器包装の分

別」、②「その他ビン・陶器類」の分別区分を「その他ビン」「陶器類」に細分化するなど、町民の皆様の協力をいただきながら、更なるごみの減量化を進めます。

○予算額 276万2千円（0円）

○担当課 町民課

(5) 太陽光発電導入事業 ※新規事業

環境教育を進めるとともに、地域防災拠点づくり及び再生可能エネルギー活用の普及・啓発を図るため、太陽光発電設備の公共施設への率先的導入を図ります。

○施設名 浜坂学校給食センター

○予算額 4,305万円（－）

○担当課 教育委員会 学校教育課

(6) 資源ごみ集団回収運動奨励事業

ごみの減量化・資源化を進めるため、区及び各種団体等が行う資源ごみ集団回収運動に対し、24年度から奨励金を増額します。

○奨励金 23年度まで 3.0円/kg
24年度から 3.5円/kg

○予算額 218万2千円（285万3千円）

○担当課 町民課



クリーン作戦



行財政改革への取組

厳しい財政状況下において、社会経済情勢の変化に伴い多様化する住民ニーズなど新たな行政需要に対応していくためには、合併効果を生かした行政のスリム化、効率化に加え、「住民が主人公」を基本とした、“最少の経費で最大の効果を生む効率的な事業の執行”と“住民から信頼される行財政運営”を更に進める必要があります。

このため、平成22年度から5年間の行財政改革の指針となる第2次行財政改革大綱及び同実施計画に基づき、「住民の参画と協働」を基本姿勢として行財政改革に積極的に取り組んでいきます。

●行財政改革への取組による計画効果額

約3億900万円（平成22年度～26年度の5年間）

【内 訳】

項 目	平成26年度までの計画効果額	
		うち平成24年度 計画効果額
1 住民の参画と協働の推進		
1-(1) 行政への住民参画の促進	—	—
1-(2) 住民との協働によるまちづくりの推進		
1-(3) ボランティア活動への支援		
1-(4) 自治基本条例の制定と啓発		
1-(5) 公正の確保と透明性の向上		
1-(6) 人権尊重と男女共同参画社会の推進		
2 財政健全化の推進		
2-(1) 経費の削減と財政の健全化	1億2,417万円	3,368万円
2-(2) 行政評価を活用した予算編成		
2-(3) 自主財源の確保		
2-(4) 使用料・手数料の適正化		
2-(5) 公営企業等の経営健全化		
3 効率的で質の高い行政運営の推進		
3-(1) 事務事業の見直しと行政評価制度の充実	1億8,424万円	842万円
3-(2) 民間委託・指定管理者制度等の推進		
3-(3) 補助金等の点検・見直し		
3-(4) 組織・機構の見直し		
3-(5) 定員管理と給与等の適正化		
3-(6) 人材育成の推進		
3-(7) 第3セクターの経営評価		
4 行政サービスの向上と新時代の行政の推進		
4-(1) 住民の視点に立った行政の運営	89万円	18万円
4-(2) 行政手続きの簡素化と住民の利便性の向上		
4-(3) 電子自治体の推進		
4-(4) よりよい子育て・子どもの育つ環境づくり		
合 計	3億930万円	4,228万円

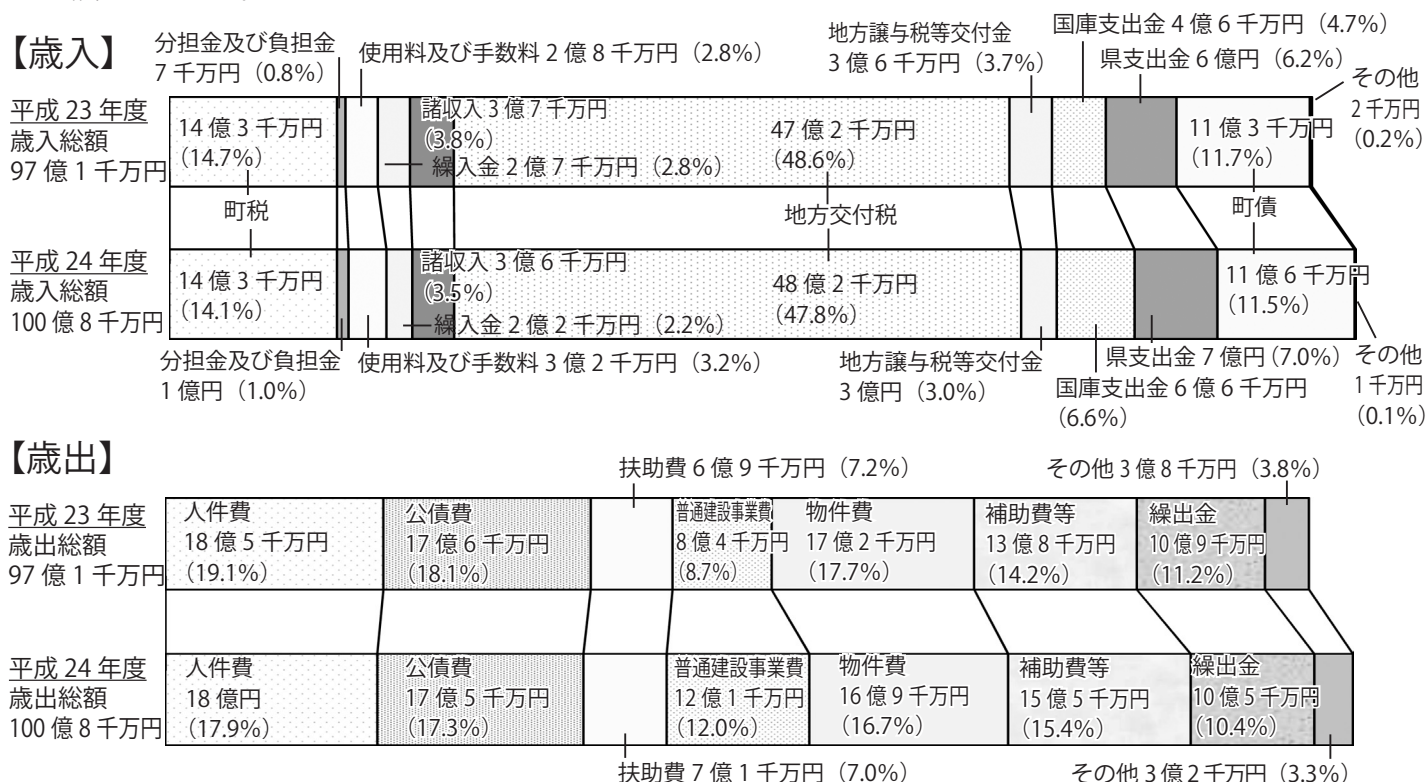
※計画効果額・・・第2次行財政改革実施計画における計画効果額

まちの台所事情

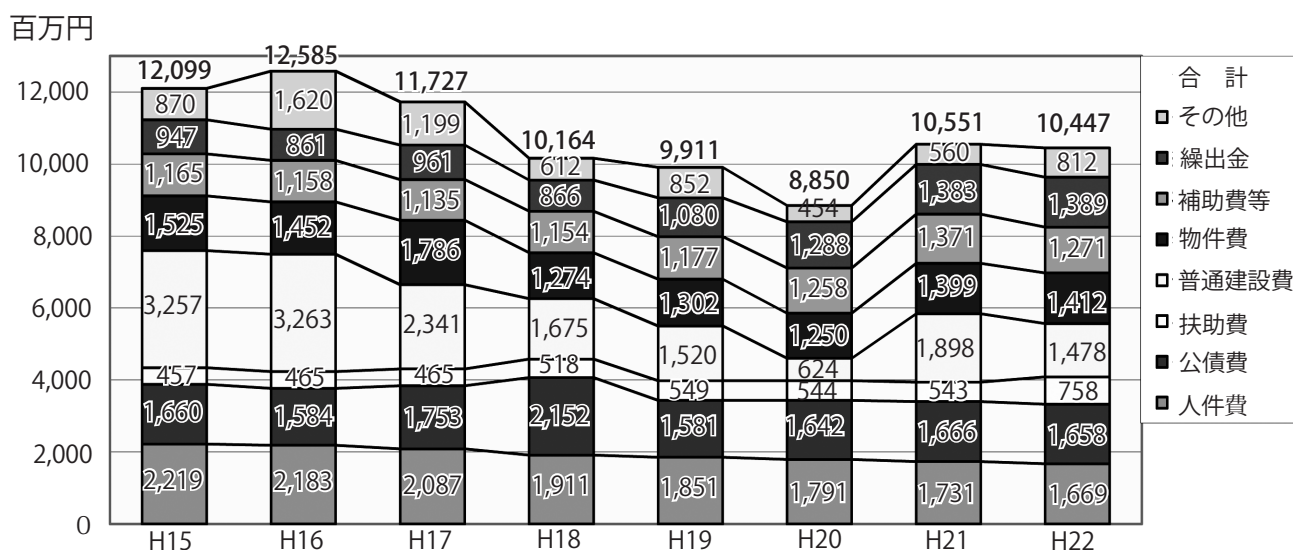
1 普通会計予算の推移

(平成 23 年度、24 年度の当初予算比較)

※「普通会計」とは、総務省の定める会計区分の一つです。一般会計、特別会計など各会計で経理する事業の範囲が自治体ごとに異なっているため、統一的な基準で整理して比較できるようにした統計上の会計区分をいいます。本町では、具体的に一般会計、残土処分場事業特別会計（浜坂・温泉）、コミュニティ・プラント事業特別会計をいいます。



普通会計歳出決算（性質別）推移



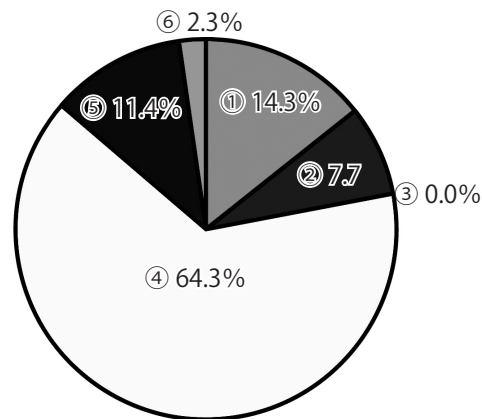
※端数処理により合計と内訳が一致しない場合があります。

2 町の予算を家計に例えてみると…

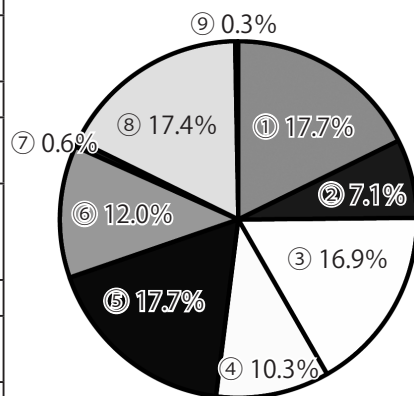
平成 24 年度の新温泉町の普通会計予算 100 億 8 千万円を、年収 420 万円（月収 35 万円）の家計に例えてみると・・・

【〇〇家族】 サラリーマンのお父さん、パート勤めのお母さん、子ども 2 人

収 入	家計（1 か月）	町予算（年間予算）
① 給料（町税）	50,000 円	14 億 3,000 万円
② パート収入 （使用料・手数料等）	27,000 円	7 億 8,000 万円
③ 財産の運用・売却益 （財産収入）	0 円	1,000 万円
④ 親からの援助など （地方交付税、国・県支出金等）	225,000 円	64 億 8,000 万円
⑤ 借金（車・住宅ローン） （町債）	40,000 円	11 億 6,000 万円
⑥ 貯金の取り崩し（繰入金）	8,000 円	2 億 2,000 万円
合 計	350,000 円	100 億 8,000 万円



支 出	家計（1 か月）	町予算（年間予算）
① 食費（人件費）	62,000 円	18 億 0,000 万円
② 医療費・教育費・保育料等 （扶助費）	25,000 円	7 億 1,000 万円
③ 光熱水費・電話代・生活用品等 （物件費）	59,000 円	16 億 9,000 万円
④ 子どもへの仕送り（繰出金）	36,000 円	10 億 5,000 万円
⑤ サークル等の会費・知人への援助 （補助費等及び出資・貸付金）	62,000 円	18 億 0,000 万円
⑥ 自宅の増改築・車や電気製品の 購入等（普通建設事業費・ 維持補修費）	42,000 円	12 億 2,000 万円
⑦ 貯金の積立て（積立金）	2,000 円	4,000 万円
⑧ 借金の返済（ローンの支払い） （公債費）	61,000 円	17 億 5,000 万円
⑨ その他（予備費）	1,000 円	2,000 万円
合 計	350,000 円	100 億 8,000 万円



お父さんとお母さんの収入だけでは生活できず、親からの援助などにより生計が成立っている状況は昨年までと変わりありません。借金の返済が減り、食費・光熱水費・生活用品等の購入費を抑えるなどの節約を行っていますが、暮らしを維持するために必要な自宅の増改築・車や電気製品の購入等が増えています。そのため、親からの援助などの収入を増やしてもらったり、借金をしたり、貯金を取り崩したりしながら、何とか生計を保っているのが今年度の家計の現状です。



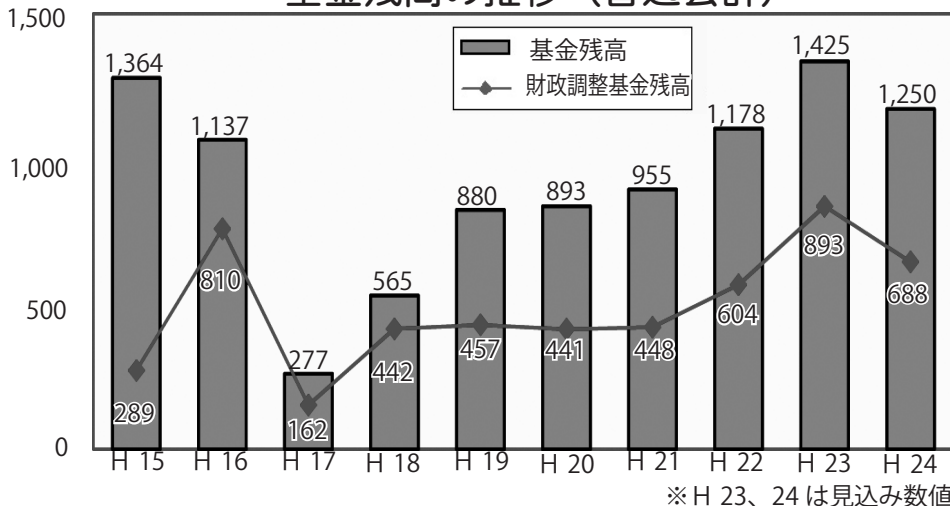
3 貯金の状況

貯金（基金）のうち使途が限定されていない財政調整基金は、平成22年度末で約6億円となりました。平成23年度は国からの財政支援措置等により決算剰余金が生じる見込みであり、それを積み立て

た結果、平成23年度末で約8億9,000万円となる見込みです。しかしながら、平成24年度予算においては収支不足を補うために約2億1千万円を取り崩すこととなりました。

百万円

基金残高の推移（普通会計）



1人当たり基金残高

(普通会計)

19年度末	50千円
20年度末	52千円
21年度末	59千円
22年度末	71千円



【基金残高の状況】

(単位：千円)

基金名		平成22年度末 現在高	平成23年度末 現在高見込額 (A)	平成24年度 積立予定額 取崩予定額 (B) (C)		平成24年度末 現在高見込額 (A)+(B)-(C)
①	財政調整基金	604,230	892,670	515	205,000	688,185
②	減債基金	24,744	24,779	16	0	24,795
③	その他 特定目的基金					
	ふるさと水と土対策基金	2,593	2,596	1	0	2,597
	地域福祉基金	54	54	0	0	54
	海岸環境美化基金	79	79	0	0	79
	地域振興基金	322,322	310,449	5	10,429	300,025
	十字谷残土処分場整備基金	84,433	86,412	35	1,124	85,323
	下々山公共建設残土処分場事業基金	79,377	95,886	43,318	1	139,203
	二日市温泉配湯事業施設整備基金	3,634	3,698	2	2,617	1,083
	ふるさとづくり基金	965	506	501	290	717
	過疎対策事業基金	49,000	0	0	0	0
	コミュニティ・プラント事業基金	6,554	7,944	4	1	7,947
計 ①～③ (普通会計)		1,177,985	1,425,073	44,397	219,462	1,250,008
④	土地開発基金 (現金のみ)	49,678	49,727	20	0	49,747
計 ①～④		1,227,663	1,474,800	44,417	219,462	1,299,755
⑤	国民健康保険財政調整運用基金	221,596	221,754	92	1	221,845
⑥	国民健康保険直営診療所基金	110	111	1	0	112
⑦	介護保険給付費準備基金	46,001	287	22,175	1	22,461
⑧	介護従事者処遇改善臨時特例基金	2,600	0	0	0	0
⑨	生活排水処理事業基金 (コミプラ除く)	59,737	54,545	1,125	15,000	40,670
⑩	七釜温泉配湯事業施設整備積立基金	37,173	41,190	393	1	41,582
⑪	浜坂簡易水道事業施設整備基金	24,060	24,334	13,199	1	37,532
合計 ①～⑪		1,618,940	1,817,021	81,402	234,466	1,663,957



4 借金の状況

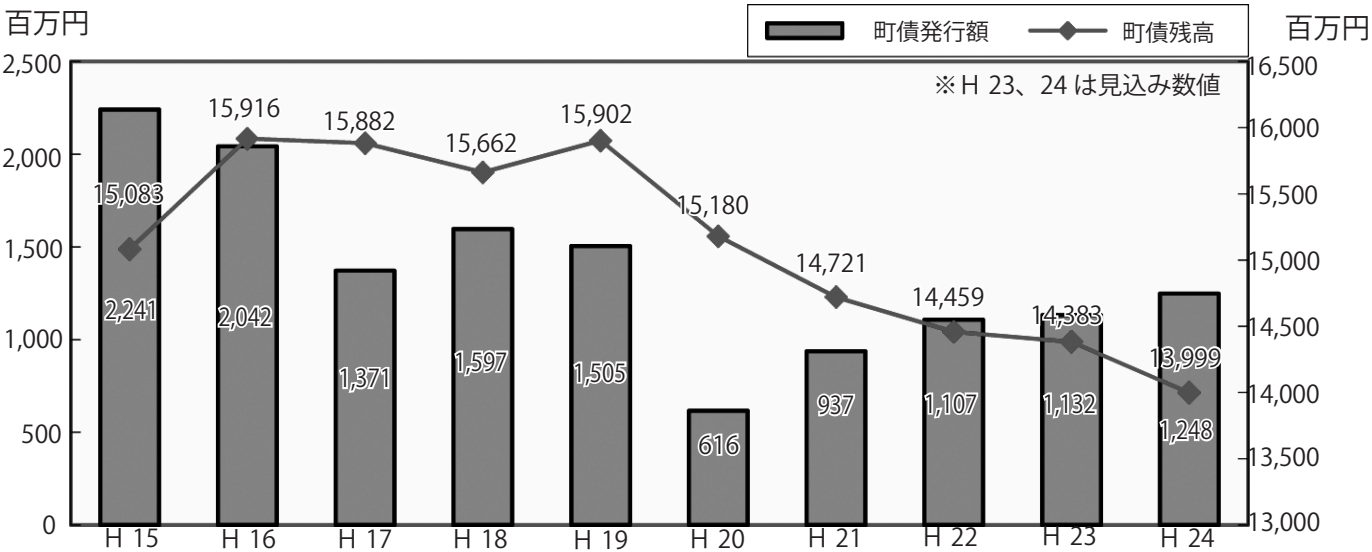
町の借金は、平成22年度末現在で全会計合わせると約263億円（平成21年度末273億円）、町民一人当たり約158万円（同169万円）となり、普通会計の借金は約145億円（同147億円）で、町民一人当たり約88万円（同91万円）となります。

財政健全化のため、返済額を超える借入れをしないことを基本とし、有利な財源である合併特例債、過疎対策事業債を活用していくなど適切な管理を行います。

1人当たり町債残高
(普通会計)

19年度末	909千円
20年度末	881千円
21年度末	911千円
22年度末	875千円

町債残高の推移（普通会計）



【町債残高の状況】 (単位：千円)

区 分	平成 22 年度末	平成 23 年度末 見込	平成 24 年度末 見込
一般会計	14,121,010	14,123,682	13,820,651
コミュニティ・プラント事業特別会計	338,473	259,246	178,561
①小 計（普通会計）	14,459,483	14,382,928	13,999,212
簡易水道事業特別会計	50,100	71,500	93,952
下水道事業特別会計	8,365,464	7,818,776	7,313,083
浜坂温泉配湯事業会計	0	0	0
国民健康保険事業特別会計	0	6,300	13,600
介護保険事業特別会計	0	6,100	4,066
水道事業会計	2,011,325	1,940,145	1,850,441
公立浜坂病院事業会計	1,421,495	1,223,308	1,083,666
②小 計	11,848,384	11,066,129	10,358,808
① + ②合 計	26,307,867	25,449,057	24,358,020

◆町債とは・・・

町債は、学校や道路、下水道などの多額の経費を要する建設事業を行うための借金であり、長期間町民に活用されるため、建設時の町民だけに負担してもらったのではなく、次の世代にも負担を求め、世代間でこれらの事業に対する負担の公平を図るものです。

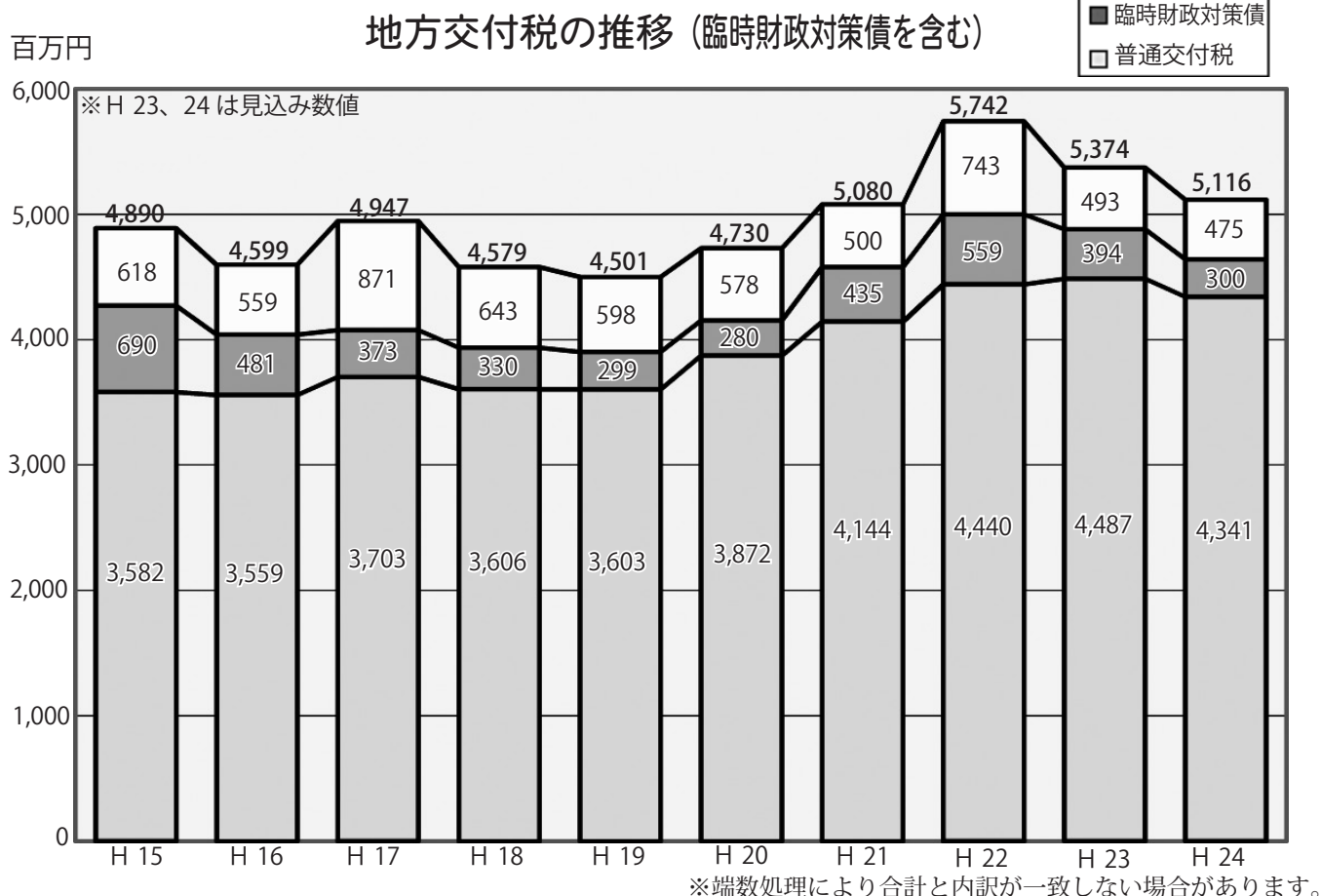
町債を発行して事業を行うことで、地方交付税による国の財政支援を受けられるように補助制度が変わってきたため、町債を有効に活用していくことも大切です。ただし、財政健全化のため借金の残高を減らすことも重要です。

5 地方交付税・町税の状況

地方交付税には、普通交付税と特別交付税があります。普通交付税では歴史的円高等を踏まえ、地域の経済対策や地域資源の活用など地域活性化に向けた取組が地域ニーズに応じて実施できるよう「地域経済基盤強化・雇用等対策費」や子育て支援サービス推進に係る経費、知の地域づくりなど住民生活に光をそそぐ事業経費等の充実などにより増額となり

ます。

町税は、平成24年度における税制改正を含め、景気の動向、過去の実績や徴収努力等を勘案した結果、約200万円の減となります。



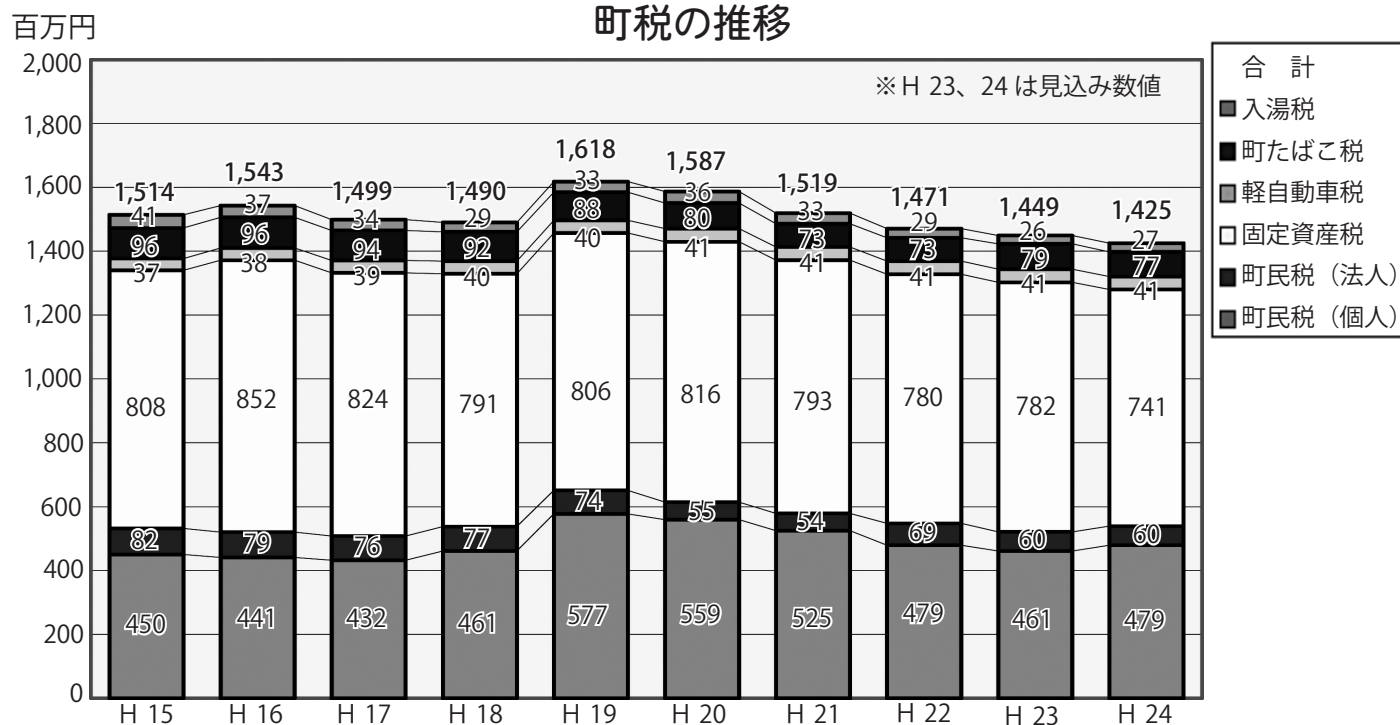
臨時財政対策債とは・・・

地方の財源不足を補てんするため特例的に認められる地方債です。従来は、この財源不足額を補てんするため、国が地方交付税特別会計で借入れし、地方交付税として地方自治体に配分してきました。

平成13年度からは、この財源不足額を国と地方で折半し補てんすることになり、地方負担分を自治体自ら直接借入れる方式に切り替えられました。これを「臨時財政対策債」といいます。



町税の推移



※端数処理により合計と内訳が一致しない場合があります。

6 財政指標の状況

項 目	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度
経常収支比率	94.2%	94.1%	91.3%	86.8%
起債制限比率	14.7%	13.9%	12.4%	11.2%
実質公債費比率	18.3%	18.8%	18.9%	18.9%
標準財政規模	57 億 1,171 万円	61 億 6,473 万円	64 億 8,293 万円	67 億 8,430 万円

【用語解説】

経常収支比率	人件費（食費）、扶助費（医療費等）、公債費（借金の返済）などの義務的な経常経費に、町税（給料）や地方交付税（親からの援助）などの経常的収入がどれだけ充当されているかを示します。数値が高くなるほど財政の自由度、健全性が失われていることを示します。 ※例えば、10 万円の収入のうち、Aさんは生活費など必ず必要な経費が 9 万円とすると、経常収支比率は 9 万円 ÷ 10 万円 = 90% となります。Bさんは生活費など必ず必要な経費が 7 万円とすると、経常収支比率は 70% となり、Bさんの方が自由に使えるお金が多いということになります。
起債制限比率	収入に占める借金の返済額（地方交付税で措置される額を収入・返済額から除く）の割合を示します。3 カ年の平均値が 20% 以上なら起債が制限されます。 ※例えば、10 万円の収入のうち、借金の返済にあてるお金が 1 万 5,000 円であれば、起債制限比率は 15% となります。
実質公債費比率	起債制限比率に、下水道、病院などの公営企業への繰出等（子どもへの仕送り）を加えた町全体の実質的な債務をもとに算出します。3 カ年の平均値が 18% 以上になると起債の許可が必要となり、25% 以上なら起債が制限されます。
標準財政規模	地方自治体が標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源（※）の規模を示す数値 ※一般財源とは、歳入のうち町税などのように使途が特定されず、どのような経費にも使用することができる資金のことです。

－平成 24 年度新温泉町予算説明書－
「まちを知る 考える 参画する」私たちの新温泉町

発行 新温泉町／編集 企画課

〒669-6792 兵庫県美方郡新温泉町浜坂 2673 番地の 1

電 話 (0796) 82-3111 (代)／F A X (0796)82-3054

町ホームページ <http://www.town.shinonsen.hyogo.jp/>